

7/3 (月)の行事



報道発表資料の配付日時 7月 3日(月)

<p>発表項目 (行事名)</p>	<p>令和5年度「第62回全国林業経営推奨行事」受賞者について ～道内から5者(法人2者・個人3名)が受賞～</p>
<p>概要</p>	<p>令和5年度第62回全国林業経営推奨行事において、道内から5者(法人2者・個人3名)が農林水産大臣賞、林野庁長官賞を受賞されましたのでお知らせします。</p> <p>○全国林業経営推奨行事の概要 森林の適正な管理、林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林所有者等を表彰。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催:公益社団法人 大日本山林会 ・後援:林野庁 ・受賞の種類:農林水産大臣賞 8件 林野庁長官賞 16件 大日本山林会会長賞 4件 <p>○北海道における受賞者</p> <ul style="list-style-type: none"> 農林水産大臣賞 農業生産法人 有限会社 鹿遠農場 (遠別町) 林野庁長官賞 一般財団法人 北海道札幌南高等学校林 (札幌市) 林野庁長官賞 野表 忍 (新ひだか町) 林野庁長官賞 松枝 敏 (広尾町) 林野庁長官賞 伊藤 順一 (鶴居村) <p>○表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月上旬に東京都内で開催予定。
<p>参考</p>	<p>○今年度、地域の模範となる林業経営を実践している道内の5名の森林所有者等が受賞されましたので、この栄誉を広く道民に周知していただきたく、積極的な報道をよろしくお願いします。</p> <p>○本行事は、昭和37年度より農林水産祭の参加行事として、実施されています。</p>
<p>報道(取材)に当たってのお願い</p>	
<p>他のクラブとの関係</p>	<p>同時配付 北海道道政記者クラブ、北海道林政記者クラブ、石狩、日高、留萌、釧路の各(総合)振興局の記者クラブ 同時レク 記者レク</p>
<p>その他</p>	
<p>担当(連絡先)</p>	<p>北海道十勝総合振興局森林室大樹事務所 (担当:峰岸、工藤) TEL01558-6-3064 (直通)</p>

令和5年度 全国林業経営推奨行事 受賞者の概要

(別紙)

区分	氏名／名称	都道府県	市町村	概要
農 林 水 産 大 臣 賞	農業生産法人 鹿遠農場 有限会社	北海道	天塩郡遠別町	全社有林(440ha)において森林認証(SGEC)を取得。産出する材の価値を高めるとともに、地域の環境保全にも貢献。
	有限会社 下久保林業	青森県	十和田市	高性能機械と古い機械の併用で生産性を高め、社員22名で年間3万㎡の素材生産を実現。積極的に高齢者雇用も進める。
	おおめき 大貫 剛久	栃木県	鹿沼市	大学の土木学科で学んだ知識を生かし、壊れにくい森林作業道を作設。持続可能な林業経営を目指す地域のリーダー。
	いわもと 岩本 敬次	静岡県	浜松市	所有林160ha、受託林380haのうち約120haをFSC認証林として育成・管理。地域森林の多面的機能の発揮に尽力する。
	よねだ 米田 一成	鳥取県	倉吉市	時間を惜しまず林地とほだ場を巡回・管理することで高品質な乾椎茸生産を実現。その姿勢と技術は同業者の手本。
	こんぜせいさん 金勝生産森林組合	滋賀県	栗東市	SGEC森林認証を取得。森林レクリエーションや企業と連携した森づくりを進めるなど森林の価値を高める事業を展開。
	ひがしかわ 東川 政富	香川県	高松市	先代が残した家訓を尊重し、安定的な林業経営を実現。県の林業改良普及協会会長のほか全林協の理事も務める。
	ながさきなんぶ 長崎南部森林組合 諫早支所	長崎県	諫早市	小規模森林所有者を取りまとめ、スケールメリットと作業の機械化等で生産コストを抑え、大幅な利益還元を実現。
林 野 庁 長 官 賞	ほっかいどうきつぽろみなみこうとうがっこうりん 北海道札幌南 高等学校林	北海道	札幌市	山林経営を通じて生徒に愛林思想を普及させるとともに、森林の総合的利用を進めて、学校林の可能性を広げている。
	のおもて 野表 忍		日高郡新ひだか町	夫婦協働で農林業の複合経営を行う。伐採は間伐が主だったが、最近は主伐が多くなっている。北海道指導林家。
	まつえだ 松枝 敏		広尾郡広尾町	平成元年の森林購入を契機に年々経営規模を拡大。持続可能な林業経営を理念とし、平成20年に林業会社を設立した。
	いとう 伊藤 順一		阿寒郡鶴居村	経営規模の拡大に意欲的。人工林率90%を目指し、耕作放棄地などへ積極的に植栽を施し、拡大造林を進めている。
	まざわ 間澤 美治	岩手県	九戸郡洋野町	長男及び3名の従業員とともに、年間3万㎡を超える素材生産を行っている。その森林施業と経営は地域の手本。
	一般 社団法人 吉田愛林公益会	宮城県	黒川郡大和町	昭和35年から直営林・分収林の計2,900haにおいて模範的な林業経営を行い、現在は県を代表する林業団体となった。
	ひたちおおみやしりんくみあい 常陸大宮市森林組合	茨城県	常陸大宮市	地域の森林所有者と8団地・2,600haの森林経営計画を作成。施業コストを削減し、組合員への利益還元に繋がった。
	かながわけんりつ 吉田島高等学校	神奈川県	足柄上郡開成町	演習林をもつ高等学校。森林経営計画を効率的に実践するために、ICT機器を導入するなどの取組みを行っている。
	にんかちえんだんたい 伴野区	長野県	下伊那郡豊丘村	区有林の管理のほか、地域内のコミュニティ事業にも積極的に取り組むなど山間部の自治的組織の模範となっている。
	めいほうざいさんくかんりかい 明宝財産区管理会	岐阜県	郡上市	50年前に天皇杯を受賞した「日出雲林業(スギ直挿しによる高密度植栽と複層林施業等)」を継承する活動を実践中。
	ひがゆまみ 東山見 森林振興会	富山県	砺波市	地域林業振興を目的に、里山再生活動、小学生を対象とした森林教育、会員対象の研修会など幅広い活動を展開する。
	株式会社 田中林業	奈良県	吉野郡十津川村	森林整備の受託を中心としつつも、「奈良型作業道」と言われる壊れにくい道の作設等で、地域林業へ大きく貢献。
	にしぐち 西口 勇人	愛媛県	松山市	経済林と環境林の適正なゾーニングを重視し、100年先を見据えた山づくりを提唱。その行動すべてが他の模範に。
株式会社 堀川林業	宇和島市		三世代にわたって適正な森づくりを実践してきた結果、施業依頼が増えて平成22年に法人化。地域林業の先駆者。	
おがた 緒方 啓一	熊本県	菊池市	原木椎茸こだわりの会を結成し、幻の椎茸『黒香』を復活・ブランド化するなど、情熱にあふれた地域のリーダー。	
みやこしりんくみあい 宮古森林組合	沖縄県	宮古島市	ボランティア組織を立ち上げて、防風林・水源涵養林の植栽を進めるなど森林率の低い宮古地域の緑化に大きく貢献。	
大 日 本 山 林 会 会 長 賞	にんかちえんだんたい 大里自治会	秋田県	鹿角市	計画的な森林施業を実践しており、森林管理の意識の高さは地域の模範。耕作放棄地の再利用にも取り組んでいる。
	わたなべ 渡邊 米	群馬県	桐生市	渡邊林業(株)を経営し、長男が製材部門、次男が素材生産部門を担当。本人は地域の森林管理のキーパーソンである。
	有限会社 小松沢レジャー農園	埼玉県	秩父郡横瀬町	代表の町田恒夫氏が平成2年に設立。氏は町の観光協会や農業委員会の会長を務め、地域の観光業と農業を牽引した。
	株式会社 山崎木材市場	兵庫県	宍粟市	関西随一の事業規模を誇る原木市場。自ら事業地を確保し、素材生産に取り組むという新たな林業経営を追求する。